

# 国際交流研究科 第2回公開講演会

## 日本の国際協力と JICA の役割

### 持続可能な開発 2030 アジェンダの 実現に向けて

国際協力機構（JICA）企画部審議役兼  
国際援助協調企画室長 原 昌平 氏



日時：平成 **28** 年 **7** 月 **2** 日（土）  
時間：15：00～16：45（開場 14：30）  
会場：目白大学新宿キャンパス  
10号館9階 10901教室

※参加無料／申込不要

主催 目白大学大学院国際交流研究科  
共催 目白大学社会学部地域社会学科  
協力 独立行政法人国際協力機構(JICA)



# 講演趣旨

今年4月に発生した熊本地震に対する支援の輪が広がっています。一方、グローバルな視点で観ると、貧困や所得格差問題に悩む開発途上国は社会経済開発の面で多くの問題や課題を抱えています。日本政府は相互依存が進む国際社会の一員として政府開発援助（ODA）による資金と技術の有効活用により、この課題の解決と持続的成長を後押しし、国際社会の平和と安定・繁栄の実現の一翼を担っています。ODA白書（2015年）によれば、日本のODAの純支出額はDAC加盟国28か国中で第5位（2014年）でした。ODA実施の中核をなす国際協力機構（JICA）は、民間企業との連携やボランティア活動の充実化など、新しい国際協力の潮流に乗って、多種多様な援助プログラムを企画・実行しています。とりわけ2015年に国連で採択され、2016年から開始された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」（2016-2030年、貧困削減や気候変動対策など17の目標）への取り組みが期待されます。そこで今回は、現在JICAで世界銀行などの国際機関等の援助協調を担当し、国際協力の最前線で活躍している国際援助協調企画室長の原昌平氏をお招きし、JICAの役割と最新の活動状況や今後の展望について多面的な観点から講演していただくことになりました。

## 講師プロフィール



原 昌平（はら しょうへい）

国際協力機構（JICA）企画部審議役兼国際援助協調企画室長

1966年東京都生まれ。慶應義塾大学卒業、London School of Economics 大学院修了。海外経済協力基金（OECD）勤務、1996-1999年にインド事務所駐在。帰国後中央アジア・コーカサス地域担当課長（域内8か国）等を歴任。2008年の新JICA発足後、インド・ブータン担当課長、2013-2016年にイラク事務所長等。2016年4月から現職で世界銀行やOECD等の国際機関、欧米援助機関、新興国援助機関等との連携促進を担当。



### 交通機関

- 西武新宿線・都営大江戸線  
「中井」駅より徒歩8分
- 東京メトロ東西線  
「落合」駅より徒歩12分
- 都営大江戸線  
「落合南長崎」駅より徒歩10分

★お車でのご来校はお控えください。

### お問い合わせ先

目白大学大学院国際交流研究科  
目白大学社会学部地域社会学科  
TEL 03-5996-3158  
URL <http://www.mejiro.ac.jp>